

**令和5年度
全国学力・学習状況調査
学校の調査結果**



**令和5年12月
海老名市立社家小学校**

令和5年度

全国学力・学習状況調査について

調査の目的

- (1)義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2)学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- (3)そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

調査の対象

国・公・私立学校の小学校第6学年、中学校第3学年 原則として全児童生徒

調査内容

- (1)教科に関する調査【国語、算数・数学、英語(中学校3学年のみ)】

出題範囲は、調査する学年の前学年までに含まれる指導事項を原則とし、出題内容は、それぞれの学年・教科に関し、以下のとおりとする。

 - ①身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能 等
 - ②知識・技能を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力 等

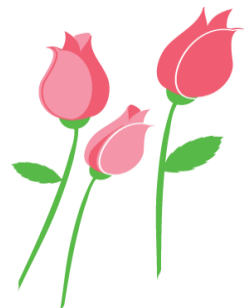
調査問題では、上記①と②を一体的に問うこととする。出題形式については、記述式の問題を一定割合で導入する。
- (2)生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査

児童生徒に対する調査	学校に対する調査
学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査	指導方法に関する取組や人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する調査

調査実施日

令和5年4月18日(火)

※児童生徒質問紙調査(一部)について、児童生徒が活用するICT端末等を用いたオンライン方式により実施



小学校 国語

出題された調査問題の内容（出題の趣旨）

- ・情報と情報との関係を捉えたり、グラフなどを用いて、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫したりすることができるかどうかをみる。
- ・目的に応じて必要な情報を見付けたり、情報を関係付けて整理したりして、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめることができるかどうかをみる。
- ・話し手の目的や自分が聞こうとする意図に応じて、話の内容を捉え、自分の考えをまとめることができるかどうかをみる。

本校の調査結果

◆比較的できている点

○知識及び技能について

- ・情報と情報との関係付けの仕方を理解したり、情報を整理したりすることについては、比較的できています。
- ・国語の用語や文法などについての知識は比較的身につけており、それを活用して文章読み進めることができます。

○思考力・判断力・表現力等について

- ・選択肢の中から、問題に合うものはどれか取捨選択し、正答することができます。
- ・目的を意識して、中心となる語や文を見つけて要約することが比較的できています。

◆課題のある点

○全体を通して

- ・複雑な文章問題では、無解答率が高く問題に対して考えようとすることや、予測をたてることが難しく、あきらめてしまう傾向がみられます。

○知識及び技能について

- ・全国や県の平均と比べると、学年別配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うことに課題が見られます。

○思考力・判断力・表現力等について

- ・全体的に「書く」ことや記述問題に対して、自分の考えをまとめ、文章にすることに課題があります。

今後の具体的な指導改善のポイント

- 読書の時間などにより活字に触れる機会を積極的に設けるとともに、文章の中で適した漢字を活用できるような漢字学習を工夫していきます。
- 考えをわかりやすくまとめたり、話したりする力を育てるために、国語科以外でも教科横断的に意識して指導を進めていきます。

小学校 算数

出題された調査問題の内容（出題の趣旨）

- ・日常生活の場面の数量の関係に着目し、伴って変わる二つの数量の関係について考察できるかどうかをみる。
- ・基本的な図形の内容や直線の位置関係について理解し、図形を構成する要素などに着目して図形の性質や図形の計量について考察できるかどうかをみる。
- ・数量の関係に着目して問題場面を解釈し数学的に表現・処理したり、計算に関して成り立つ性質を基に計算の仕方を考えたりすることができるかどうかをみる。
- ・日常生活の問題を解決するために、目的に応じて、表やグラフからデータの特徴や傾向を捉えることができるかどうかをみる。

本校の調査結果

◆比較的にできている点

- 数と計算の問題
 - ・一の位が0の2つの二位数について乗法の計算を正確に解くことができています。
- データの活用の問題
 - ・正答率が県や全国平均より高い結果となっています。二次元の表から条件に合う数を読み取ることができています。
- 図形の問題
 - ・台形の性質について比較的理解できています。

◆課題のある点

- 変化と関係の問題
 - ・伴って変わる2つの数量の関係が比例の関係でないことを説明するために、表の中の適切な数の組を用いて解くことに課題がみられます。
 - ・百分率で表された割合についての理解が十分ではない点がみられます。
- 図形の問題
 - ・底辺と面積の関係をもとに、面積の大きさを判断し、その理由を言葉や数を用いて記述することに課題があります。

今後の具体的な指導改善のポイント

- 生活経験との関連づけ
 - ・「割合」が、日常生活の多くの場面で活用されていることを想起させ、理解できるようにしていきます。その際、生活経験を基にした判断と、計算で求めた結果を、関連づけて考えることができるよう進めていきます。
- 考えを表現する機会を設ける
 - ・答えを求める際に、考える過程やその理由を言葉や数、図や表を用いて説明する場面を授業の中で多く設定していきます。

児童質問紙

学習について

◆本校のよかったところ

○学級やグループで話し合う活動

- ・「道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいるか」の設問に対し、当てはまる・どちらかといえば当てはまると回答した児童は、全国平均より上回る結果となっています。(県比+5.1ポイント・全国比+3.7ポイント)道徳の授業における交流を通し、よく考えている児童が多いです。

◆本校の課題と思われるところ

○自ら考える力

- ・「自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか」の設問に対し、当てはまる・どちらかといえば当てはまると回答した児童は、全国平均を下回る結果でした。(県比-17.3ポイント・全国比-17ポイント)また、「課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか」の設問も全国平均を大きく下回っています。

○家庭での学習時間

- ・家庭での学習時間が平日は3割以上、土日休日においては5割以上の児童が30分以下の学習時間でした。現段階では家庭で学習する習慣のついていない児童が多いようです。

生活について

◆本校のよかったところ

○いじめについての意識

- ・「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」の設問に対し、そう思わないと回答した児童はいません。いじめは人権侵害であり、いかなる理由があっても許されない行為であるという認識が定着しつつあると考えられます。

○PC やタブレットの活用

- ・「学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を使うのは勉強の役に立つと思いますか」の設問には、ほぼ全ての児童が有効性を実感しているとの回答がありました。学習の有効な手段として活用していると考えられます。

◆本校の課題と思われるところ

○人とのつながり

- ・「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」の設問に対し、肯定的な回答が平均よりも下回る結果となりました。「あまりそうは思わない」のポイントは県比+5.9ポイント・全国比+6ポイントとなっています。他者の役に立ちたいという意識や積極性が若干低い傾向が見られます。

今後の具体的な取組について

- 各教科で、与えられた課題に対する取り組みだけではなく、自ら課題を見出し、解決していく力を身に付けていくことをめざします。
- 家庭学習に意欲的に取り組めるような課題設定について考えていきます。
- 地域を含め、様々な人と関わり、つながりを感じることができるような機会を設けるとともに、児童が教師に「認められた」と感じられるようなかわりかたや指導を意識していきます。

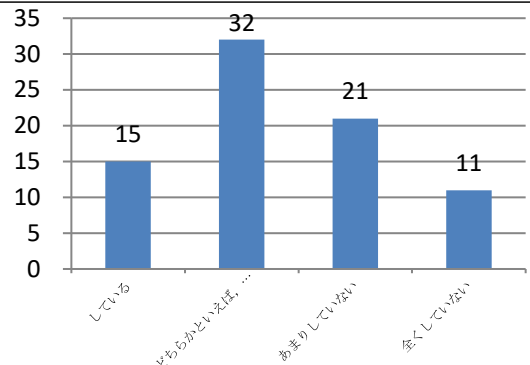
ご家庭で取り組んでいただきたいこと

令和5年度全国学力・学習状況調査の結果の分析より、「ご家庭で取り組んでいただきたい3つの項目」をまとめました。ぜひ、取り組んでみてください。グラフは本校の児童質問紙の結果です。

1 計画を立てて学習に取り組んでいきましょう

自分で苦手なところや予習、復習をして、必要な学習が考えられるような子どもたちになれるよう自主学習ノートを活用し、自ら学習を選び、学べる姿が見られるようにしていきましょう。

家で自分で計画を立てて勉強をしていますか

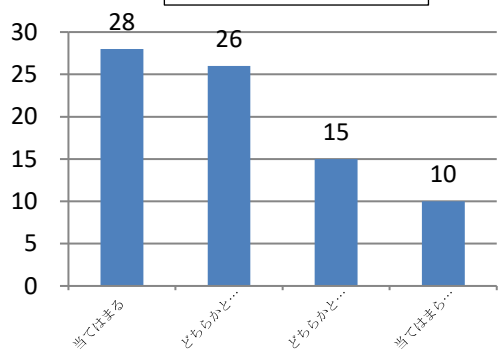


2 活字を読む機会を増やしていきましょう

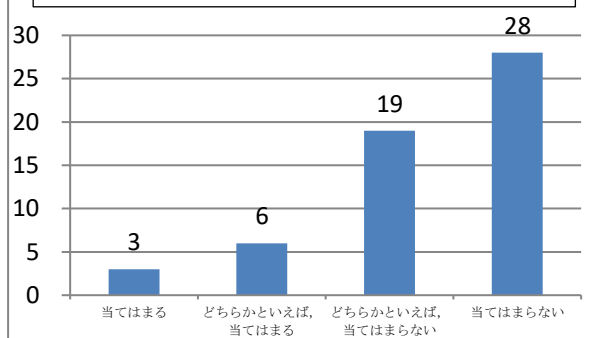
「読書が好き」「やや好き」と答える児童が多くみられますが、「図書館や図書室へ行きますか」という問いには、「あてはまらない」が多くみられます。

進んで図書館や図書室へ行き、様々な本に興味をもったり、じっくりと図書館で読んだりする機会を通して、読む力が自然と培われるようにしていきましょう。

読書は好きですか



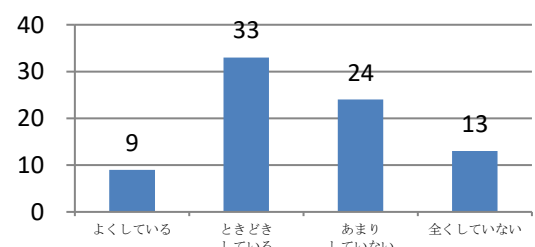
本を借りに図書室や図書館へ行きますか



3 地域の行事に、参加しましょう

約半数の児童が、「あまりしていない」「全くしていない」と答えています。子どもたちの学習には、地域での取り組みやその土地に受け継がれている文化について学習する場面も多くあります。住んでいる地域をもっと知り、そのよさを知る機会をつくっていきましょう。

今住んでいる地域の行事に参加していますか



文部科学省における学習指導の改善・充実に向けての主な取組

1. 学習指導要領の着実な実施

- 主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善
- 指導改善に資する情報提供等(国立教育政策研究所)

2. 英語の学習指導の改善・充実

- 海外の学校等との国際交流や協働的な学習の推進
- 科学技術人材の育成

3. GIGA スクール構想の更なる取組の推進

- 国費による学校 DX 戦略アドバイザーの派遣等による支援
- 切れ目のない研修コンテンツの提供

4. 児童生徒の豊かな心をはぐくむ取組の推進

- 道徳教育や特別活動、体験活動、生徒指導など学校教育活動全体を通じて児童生徒の豊かな心をはぐくむ取組を推進

5. 学校における指導・運営体制の充実

- 小学校における35人学級の計画的整備や高学年教科担任制の推進等のための教職員定数の改善
- 教員業務支援員や学習指導員等の支援スタッフの充実

6. 調査結果を活用した追加分析等

- 令和5年度調査の結果を活用した追加分析
- 個票データ等の貸与

海老名市における学習指導の改善・充実に向けての主な取組



**多様性を受け止め、多様性を生かし、
えびなっ子ひとりひとりの
学びを保障する教育をめざします**



3つの重点

- ①授業改善の実践 ②教育支援体制の充実 ③特色ある学校づくりの推進

①授業改善の実践

- 「主体的・対話的で深い学び」を追求し、授業改善を継続します
- 今日的な教育課題であるプログラミング教育、外国語教育、キャリア教育などを実践します
- 学校ICTを有効に活用します
- 市教育委員会として、実践のために必要な学校へのサポートを行います(予算確保や環境整備、教職員向けの研修など)

【市の結果についての問い合わせ先】
電話 046-235-4919
海老名市教育委員会教育支援課 指導係